

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 1 区分

【発行日】令和 6 年 11 月 11 日 (2024.11.11)

【国際公開番号】WO2022/106950

【出願番号】特願 2022-563252 (P2022-563252)

【国際特許分類】

C 0 1 B 32/182(2017.01)

H 0 1 M 4/62(2006.01)

H 0 1 M 4/13(2010.01)

H 0 1 M 4/02(2006.01)

H 0 1 M 4/36(2006.01)

H 0 1 G 11/36(2013.01)

10

【F I】

C 0 1 B 32/182

H 0 1 M 4/62 Z

H 0 1 M 4/13

H 0 1 M 4/02 Z

H 0 1 M 4/36 A

H 0 1 G 11/36

20

【手続補正書】

【提出日】令和 6 年 10 月 31 日 (2024.10.31)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

30

炭素原子で構成される 9 員環以上の多員環により構成される孔を有し、  
前記多員環を構成する前記炭素原子の一以上はフッ素により終端されるグラフェン。

【請求項 2】

請求項 1 において、  
ラマン分光法による分析において、 $1580\text{ cm}^{-1}$  またはその近傍に観測される第 1 のピークと、 $1360\text{ cm}^{-1}$  またはその近傍に観測される第 2 のピークと、を有するグラフェン。

【請求項 3】

活物質粒子と、グラフェンと、を有し、  
前記グラフェンは、炭素原子で構成される 9 員環以上の多員環により構成される孔を有し、

40

前記多員環を構成する前記炭素原子の一以上はフッ素により終端され、

前記グラフェンは、前記活物質粒子の表面の少なくとも一部を覆う電極。

【請求項 4】

請求項 3 において、  
前記グラフェンは、ラマン分光法による分析において、 $1580\text{ cm}^{-1}$  またはその近傍に観測される第 1 のピークと、 $1360\text{ cm}^{-1}$  またはその近傍に観測される第 2 のピークと、を有する電極。

【請求項 5】

請求項 3 または請求項 4 において、

50

前記活物質粒子は、正極活物質粒子である電極。

【請求項 6】

請求項 3 乃至請求項 5 のいずれかーにおいて、  
前記活物質粒子は、負極活物質粒子である電極。

【請求項 7】

請求項 3 乃至請求項 6 のいずれかーに記載の電極と、電解質と、を有する二次電池。

【請求項 8】

請求項 7 に記載の二次電池を有する電子機器。

【請求項 9】

請求項 7 に記載の二次電池を有する車両。

10

20

30

40

50